



令和4年1月13日

## 1月15日から21日は「防災とボランティア週間」です

「防災とボランティア週間」は、阪神・淡路大震災を契機に創設され、災害時におけるボランティア活動や自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図ることを目的としています。

本週間をとらえて、発生が危惧されている首都直下地震への備えが必要であること及び近年相次いで発生した台風や豪雨による自然災害での教訓を踏まえ、地域住民を主体とした自助・共助の精神に基づく地域防災力の向上を目的とした取組を推進します。

なお、行事は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮した形で推進します。

### 1 実施期間

令和4年1月15日（土）から同年1月21日（金）まで  
防災とボランティアの日 令和4年1月17日（月）

### 2 推進項目

- (1) 地域の実情に応じた各種施策の効果的な推進
- (2) YouTube 東京消防庁公式チャンネル、公式アプリ、当庁ホームページ等の広報媒体を活用したオンライン学習による取組の推進

ア YouTube 東京消防庁公式チャンネル 「リモート防災訓練」  
初期消火編、煙からの避難編、119番通報編、スタンドパ  
イプの使い方編が公開されています。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLJ6976ih2IIhPAWQZNdQB4dm17JJ2Qc3X>



イ 当庁HP「地震に備えて」ページ  
地震その時10のポイントの説明など、英語版もあります。  
[https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/bou\\_topic/jisin/life00.html](https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/bou_topic/jisin/life00.html)



ウ 東京消防庁公式アプリによる普及啓発  
東京消防庁公式アプリダウンロードURL  
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/inf/app/index.html>



(3) 映像の提供について

(2)に示した各映像資料について、映像使用等をご要望の社は、広報課報道係までご連絡ください

3 関連行事

第18回地域の防火防災功労賞表彰式  
別紙のとおり

4 東京消防庁災害時支援ボランティアについて

東京消防庁災害時支援ボランティア(以下「災害時支援ボランティア」という。)は、震災時等に、あらかじめ登録している消防署等に参集し、消防署の支援を行う専門のボランティアです。また、平常時は地域の防火防災訓練等に参加し、都民指導を実施するなど、地域防災力の向上に寄与しています。

登録要件は、原則として、東京消防庁管轄区域内に居住、勤務又は通学している15歳以上(中学生を除く。)の方で、応急救護に関する知識等を保有している方が登録の要件となっており、令和3年10月現在では、約3,700名の登録者がいます。

東京消防庁では災害時支援ボランティアを募集しています。なお、新型コロナウイルス感染症防止のため、メールや郵送などでの登録手続きも実施しています。

東京消防庁災害時支援ボランティア募集ページ

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-bousaika/sien/index.html>



問合せ先

東京消防庁(代表)	03-3212-2111
防災安全課防災安全係	内線 3925・3927
広報課報道係	内線 2346~2350

## 第18回地域の防火防災功労賞表彰式について

### 概 要

「地域の防火防災功労賞」は、阪神・淡路大震災から10年目の節目にあたる平成16年6月に、地域防災力の向上を図ることを目的として創設されました。町会・自治会、事業所等の防火防災に関する取組について募集し、表彰することで広く都民に紹介するものです。

今年も地震、風水害等の自然災害に関する町会・自治会等が主体となった地域の取組や、地域が実施する住宅防火に関する取組など、75事例の応募があり、令和3年9月14日（火）に開催された第18回地域の防火防災功労賞選考委員会において各賞が決定いたしました。

#### 1 実施日時（表彰式・写真撮影）

令和4年1月17日（月）13時30分から14時30分まで  
（表彰式：13時30分から14時00分）

#### 2 実施場所

東京消防庁スクワール麴町3階（東京都千代田区麴町六丁目6番地）

#### 3 受賞団体

##### (1) 最優秀賞受賞団体（3団体）

鍋横区民活動センター運営委員会（中野）、荒川区聴覚障害者協会（荒川）、  
玉川学園町内会（町田）

##### (2) 優秀賞受賞団体（4団体）

東京都立府中けやきの森学園（府中）、グランドメゾン狛江管理組合（狛江）、  
チーム竹丘（清瀬）、あきる野市立増戸小学校（秋川）

#### 4 列席者

消防総監、防災部長、参事兼防災安全課長、関係各署長等

#### 5 取組事例について

最優秀賞（消防総監賞）3団体の取組内容は別添え1のとおりです。

#### 6 その他

(1) 取材を希望される社は、1月14日（金）17時00分までに広報課報道係までご連絡ください。

(2) 当日は、建物1階出入口付近にて12時30分から受付を行います。（別添え2参照）受付終了後、順次会場の撮影位置にご案内いたします。

- (3) 取材予定全社を会場へご案内後、レクチャーを実施します。
- (4) 取材の際は、**自社腕章を着用**してください。
- (5) 駐車場の準備はありません。近隣のコインパーキング等をご利用ください。
- (6) 新型コロナウイルス感染症予防対策として、マスクの着用、手指消毒にご協力ください。テレビは1社3名以内、それ以外の社は1社1名とさせていただきます。ただし、テレビ以外の社のうち、スチールに加えムービーの撮影を希望する社は、2名まで取材可能とします。

最優秀賞（消防総監賞）事例概要

所属	団体名	事例名	活動概要	活動概要
中野	鍋横区民活動センター運営委員会	ママたちの防災-災害時子どもの命を守る地域の支えあい	<p>地域との繋がりが少なく、災害時の対応に不安を持つ乳幼児母子を中心にした防災を考える場所を作り、親子ともに参加できる工夫を凝らした防災体験や講師を招いての防災講話・中野消防署から指導者を招いて救命講習を行うなどの企画し実施し、自分たちで地域の防災・安全について考え、地域での助け合いの輪を広げられるように支援しています。</p>	
荒川	荒川区聴覚障害者協会	互いを知って助け合う ～聴覚障害者団体の防災への取組～	<p>協会主導で「災害対策委員会」を立ち上げたことを契機に、聴覚障害者のための災害対策マニュアルの策定や、避難所開設運営訓練をはじめとする各種防災訓練や地域イベントへの参加を通して、地域社会の中であろう者が孤立せず、自助・共助の精神のもと災害に対応するための人材育成や体制づくりに尽力してきた。</p>	
町田	玉川学園町内会	顔の見える「近助」による災害に強いまちづくり	<p>「自助・近助」をテーマに町内8地区ごとの防災訓練や合同の総合防災訓練を毎年実施、また地区ごとに隊長や班長を設置し人材育成にも力を入れている。独自の防災マップの作成やスタンドパイプ保管BOXの配置などハード面の整備も積極的に行っている。ホームページ配信や機関紙（月刊町内会だより）の全戸配付、回覧板、子ども記者クラブの企画等、広報活動にも意欲的な町会である。</p>	

### 第 18 回地域の防火防災功労賞表彰式会場図

